

下関市内で交通事故防止啓発活動を実施

～「反射材付き交通安全啓発チラシ」2千部を山口県に贈呈～

日本損害保険協会山口損保会（会長：真壁 友枝・三井住友海上火災保険株式会社 山口支店 支店長）は、10月30日（木）13時から、山口県環境生活部および下関警察署と連携して、下関市にあるショッピングモール「ゆめシティ」にて交通事故防止啓発活動を実施しました。

啓発活動に先立ち、真壁会長から山口県に「反射材付き交通安全啓発チラシ」2千部を贈呈しました。真壁会長は「損保協会では、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点項目の一つとして取り組んでいる。反射材を靴やカバンに貼っていただき、少しでも交通事故の被害者が減少することを願っている。」との挨拶があり、次いで、山口県環境生活部・河村 佳彦 部次長から、「当県では11月9日から15日まで「高齢者の交通事故防止県民運動」を実施する。贈呈いただいた反射材付き交通安全啓発チラシを本運動で活用していきたい。」と挨拶がありました。

その後実施した啓発活動には13人が参加し、当協会が寄贈した「反射材付き交通安全啓発チラシ」約350部を来店客に手渡して、反射材を用いた交通事故防止を呼び掛けました。

当支部では、引き続き、山口県や関係先と連携して、高齢者をはじめとした交通事故防止に関する活動に取り組んでまいります。



河村部次長（左）真壁会長（右）



参加者の集合写真



啓発活動の様子 -1-



啓発活動の様子 -2-